【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2009-102463(P2009-102463A)
【公開日】平成21年5月14日(2009.5.14)
【年通号数】公開・登録公報2009-019
【出願番号】特願2007-273280(P2007-273280)
【国際特許分類】
*Ｃ０９Ｋ　3/18　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｆ 220/24　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　13/395　(2006.01)*
*Ｄ０６Ｍ　15/277　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｋ　3/18　１０２
Ｃ０８Ｆ 220/24
Ｄ０６Ｍ　13/395
Ｄ０６Ｍ　15/277

【手続補正書】
【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
これらの各重合性単量体を用いての共重合反応は、ポリエチレンオキサイド付加型ノニオン性界面活性剤が用いられる界面活性乳化剤およびグリコール系化合物乳化助剤の存在下で、乳化重合法によって行われる。共単量体合計量に対して、界面活性乳化剤は約1～20重量％、好ましくは約1～10重量％の割合で、また乳化助剤は約10～100重量％、好ましくは約15～70重量％の割合で用いられる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
また、ポリエチレンオキサイド付加型ノニオン性界面活性剤としては、例えばポリエチレンオキサイドと脂肪族アルコール、芳香族アルコール等のアルコール類、アルキルエーテル、オレイン酸、$C_{12}$～$C_{18}$アルキルアミン、ソルビタンモノ脂肪酸等との反応生成物が用いられる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
参考例１

| | |
|---|---|
| 2-(パーフルオロヘキシル)エチルメタクリレート | 58.3g (45.6%) |
| ベンジルメタクリレート | 29.2g (22.8%) |
| 2-ヒドロキシエチルメタクリレート | 5.6g ( 4.4%) |
| ポリエチレングリコール(n=4)モノメタクリレート (日本油脂製品PE-200) | 11.7g ( 9.1%) |
| ラウリルメルカプタン〔連鎖移動剤〕 | 0.5g |
| ポリオキシエチレン多環フェニルエーテル〔PEO付加型ノニオン性界面活性剤〕(日本乳化剤製品ニューコール-740) | 7.0g |
| ヘキシレングリコール〔乳化助剤〕 | 35.0g |
| イオン交換水 | 267.1g |